

## 第3期広島県スポーツ推進計画（素案）について

### 1 要旨・目的

今年度末で第2期計画の計画期間が終了することから、第2期計画の振り返り、現在のスポーツを取り巻く環境、本県の実情を踏まえ、第3期広島県スポーツ推進計画を策定する。

### 2 計画の位置付け

スポーツ基本法第10条に基づき、県において総合的にスポーツを推進するための計画であり、安心▷誇り▷挑戦ひろしまビジョン（令和2年10月策定）のスポーツにおける分野別計画に当たる。

### 3 計画期間

令和6年度～令和10年度（5年間）

### 4 素案

別紙「第3期広島県スポーツ推進計画（素案）」のとおり

### 5 スケジュール

|                              | 9月   | 10月 | 11月 | 12月 | 1月    | 2月      | 3月 |
|------------------------------|------|-----|-----|-----|-------|---------|----|
| 議会<br>〔中山間地域・スポーツ・文化振興特別委員会〕 | ●骨子案 |     |     | ●素案 | ●集中審議 | ●対応状況説明 |    |
| スポーツ推進<br>審議会                | ●骨子案 |     |     | ●素案 |       | ●最終審議   |    |

# 第3期広島県スポーツ推進計画（素案）の概要

## 【第1章】計画の策定に当たって

### 1 計画策定の趣旨

令和5年度末で「第2期広島県スポーツ推進計画」（以下「第2期計画」という。）の計画期間が終了することから、第2期計画の振り返り、現在のスポーツを取り巻く環境、本県の実情を踏まえ、「第3期広島県スポーツ推進計画」（以下「第3期計画」という。）を策定する。

### 2 計画の位置付け

- (1) 安心▷誇り▷挑戦ひろしまビジョン（令和2年10月策定）のスポーツにおける分野別計画
- (2) スポーツ基本法第10条に基づき、県において総合的にスポーツを推進するための計画

### 3 計画の期間

令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間

### 4 スポーツの意義

#### (1) 「deportare」（デポルターレ）

スポーツの言葉の語源は、ラテン語の「deportare」（デポルターレ）とされており、「日々の生活から離れる」気晴らしや遊び、楽しみ、休養といった要素を指し、誰もが自由に身体を動かし、自由に観戦し、楽しめるものであるべきとされている。本県も、スポーツの意義は「deportare」（デポルターレ）に由来するとの考え方のもとに、県民がスポーツを通じて健康で豊かな生活を実感できる取組を進めていく。

#### (2) 平和の推進

スポーツは、フェアプレイ、協力、公平性などの価値観を有し、イベントや競技会は、多様なアスリートやファンに対し、交流や対話の機会を提供するなど、スポーツは平和の推進に重要な役割を担うことができることから、スポーツの力を活用して平和の推進の取組を進めていく。

## 【第2章】第2期計画の取組とスポーツを取り巻く社会の変化

### 1 第2期計画の取組と成果

#### (1) 政策目標Ⅰ（スポーツを通じた地域・経済の活性化）

- ・ 令和2年4月、広島版スポーツコミッション（スポーツアクティベーションひろしま）を創設し、スポーツを活用した地域活性化に向けて取り組む市町を支援する「わがまち~~ぬ~~スポーツ」の取組を推進している。
- ・ 「わがまち~~ぬ~~スポーツ」に参加する市町は着実に増加しており、三次市でWBSC女子野球ワールドカップグループステージが開催されるなど好事例も出ている。

#### (2) 政策目標Ⅱ（スポーツを通じた健康長寿の達成とスポーツ参画人口の拡大）

- ・ 生涯スポーツを支える人材育成のため、スポーツ推進委員への研修会や総合型地域スポーツクラブのマネージャー育成の研修に取り組んでいる。
- ・ 各種研修会の開催による、体育科授業における教師の指導力向上やプロスポーツチーム等と連携した、指導者養成やスポーツ教室の開催を行っている。

#### (3) 政策目標Ⅲ（競技力の向上）

- ・ トップアスリートの戦略的な発掘、育成、強化を図るため、スーパージュニア育成プログラム（小学4～6年生対象）、ひろしまスポーツアカデミー（中学生対象）、競技力向上拠点校（高校生対象）のジュニア世代へ連続的な事業を実施している。

#### (4) 政策目標Ⅳ（スポーツを通じた、多様性が尊重される、平和で持続可能な社会の実現）

- ・ パラスポーツについては、「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ2023」を開催するなど、多様なキープレーヤーとの一体的な取組を始めることで、共生社会の実現に向けた一歩を踏み出すことができた。

### 2 スポーツを取り巻く社会変化と本県の状況

#### (1) 全国的な状況と国の動向

- ア 第3期スポーツ基本計画の策定
- イ 生涯スポーツの重要度の高まり
- ウ スポーツツーリズムの活性化
- エ スポーツ医・科学的支援

#### (2) 広島県の状況

- ア トップスポーツチームの活躍
- イ 全国トップクラスの「スポーツ観戦率」
- ウ 全国的に下位の健康寿命
- エ パラスポーツ大会の開催

## 【第3章】計画の基本事項

### 1 基本理念

スポーツを核とした一人一人が健康で豊かな地域づくり  
～スポーツの力で社会を変える。未来へつなぐ。～

### 2 目指す姿（将来像）

県民の誰もがスポーツを楽しむことで健康と豊かさを実感し、スポーツの力によって本県及び地域社会への愛着や誇りが醸成され、スポーツを通じて夢や希望に挑戦できる社会が実現されています。

| 目指す姿 |                                  | 目指す姿の具体的なイメージ  |
|------|----------------------------------|--|
| 安心   | 県民の誰もがスポーツを楽しむことで、健康と豊かさを実感しており、 | 「する」「みる」「ささえる」、少なくともいずれか一つで、県民の誰もがスポーツを楽しんでいる。特に「する」については、家の中、近所の公園、体育施設等で思い思いに、スポーツを楽しんでいる。また、スポーツを楽しむことで、人生を楽しく、健康的で、生き生きした生活を営んでいる。 |
| 誇り   | スポーツの力によって、本県及び地域社会への愛着や誇りが醸成され、 | 広島が強みであるプロスポーツ、実業団スポーツ及び本県ゆかりのトップアスリートが活躍することで、熱狂や感動を享受することや、地域において、スポーツ資源を活用した地域づくりの取組が、地域のコミュニティを結束し、愛着や誇りが醸成されている。                  |
| 挑戦   | 夢や希望に挑戦できる社会が実現されています            | 県民一人一人が、自らの資質や思いに応じた挑戦ができる良質なスポーツ実施環境が整っている。特に、ジュニア世代のスポーツを通じたそれぞれの夢や希望への「挑戦」を支え、後押しできる社会が実現できている。                                     |

### 3 政策目標と施策体系

| 政策目標                        | 施策の柱   |
|-----------------------------|--|
| I<br>誰もがスポーツを楽しむことができる社会の実現 | 1 ライフステージに応じた運動・スポーツ習慣の定着と健康の増進<br>2 身近にスポーツを楽しむ環境の創出<br>3 パラスポーツを通じた活力ある共生社会の実現<br>4 アーバンスポーツの推進<br>5 スポーツをする場の充実 |
| II<br>スポーツを通じた地域・経済の活性化     | 1 スポーツ資源を活用した地域活性化<br>2 スポーツの成長産業化<br>3 スポーツを通じた交流・施策の推進   |
| III<br>競技力の向上               | 1 子どもたちの夢や希望への挑戦を後押しする良質な育成環境<br>2 県ゆかりの選手の活躍支援<br>3 選手をサポートする体制・環境の充実   |

#### 4 成果指標

| 政策目標                        | 施策の柱                            | 成果指標                             | 現状値<br>(R5)          | 目標値<br>(R10) |
|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------|--------------|
| Ⅰ<br>誰もがスポーツを楽しむことができる社会の実現 | 1 ライフステージに応じた運動・スポーツ習慣の定着と健康の増進 | 20歳以上の県民のスポーツ実施率(週1回以上)          | R5調査中<br>R4 45.1%    | 65%          |
|                             | 2 身近にスポーツを楽しむ環境の創出              |                                  |                      |              |
|                             | 3 パラスポーツを通じた活力ある共生社会の実現         |                                  |                      |              |
|                             | 4 アーバンスポーツの推進                   | 障害のある人で週に1日以上スポーツ実施率             | R5 35.5%<br>R4 33.9% | 41.3%        |
|                             | 5 スポーツをする場の充実                   |                                  |                      |              |
| Ⅱ<br>スポーツを通じた地域・経済の活性化      | 1 地域のスポーツ資源を活用した地域活性化           | — (※)                            | —                    | —            |
|                             | 2 スポーツの成長産業化                    |                                  |                      |              |
|                             | 3 スポーツを通じた交流・施策推進               |                                  |                      |              |
| Ⅲ<br>競技力の向上                 | 1 子どもたちの夢や希望への挑戦を後押しする良質な育成環境   | 国民スポーツ大会<br>男女総合成績<br>(少年種別) (※) | R5 23位<br>(24位)      | 8位<br>(14位)  |
|                             | 2 県ゆかりの選手の活躍支援                  |                                  |                      |              |
|                             | 3 選手をサポートする体制・環境の充実             |                                  |                      |              |

※ 政策目標Ⅱ(スポーツを通じた地域・経済の活性化)、政策目標Ⅲ(競技力の向上)の成果指標については、それぞれの目指す姿に応じた指標設定の追加を検討する。

## 【第4章】政策目標の達成に向けた施策展開

|  |   |
|--|---|
| <b>I 誰もがスポーツを楽しむことができる社会の実現</b>  |   |
| <b>1 ライフステージに応じた運動・スポーツ習慣の定着と健康の増進</b>   |   |
| (1) 幼児期における運動遊びの充実   | 専門家と連携し、保育士や幼稚園教諭等の運動遊びの研修実施                                |
| (2) 学校体育活動の充実  | 教師の指導力向上、外部指導者等の派遣、学校体育施設の開放                                |
| (3) 働く世代、子育て世代の運動習慣化   | 身近な公共空間を活用した働く世代等の運動習慣化の環境づくり                               |
| <b>2 スポーツが身近にある環境の創出</b>   |   |
| (1) スポーツを楽しむ環境づくり  | 「広島横断型スポーツ応援プロジェクト (TeamWISH)」の構築                           |
| (2) 地域スポーツの充実  | 総合型地域スポーツクラブの充実、指導者養成<br>新たなスポーツの普及、学校部活動との連携               |
| (3) 部活動の地域連携・地域移行  | 休日の運動部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備                           |
| (4) eスポーツの展開   | eスポーツを活用した競技人口の拡大や地域活性化などの取組を支援                             |
| <b>3 パラスポーツを通じた活力ある共生社会の実現</b>   |   |
| 「普及・啓発」「場の充実・機会の確保」「競技力向上」の3つの施策を有機的・連続的に結びつけ、公益社団法人広島県パラスポーツ協会の体制強化を図りながら、パラスポーツを通じた共生社会の実現を目指して取組を展開 |   |
| <b>4 アーバンスポーツの推進</b>   |   |
| アーバンスポーツの大会誘致、中央競技団体 (NF) と連携・協力した選手の発掘育成強化、指導者育成  |   |
| <b>5 スポーツをする場の充実</b>   |   |
| (1) 県立スポーツ施設の維持・充実   | 県立スポーツ施設の機能維持・充実 (県立総合体育館においては、広島ドラゴンフライズのBリーグプレミア参入に協力)    |
| (2) 競技力強化に向けた取組  | 常設のスケート場や屋内50mプールや備品などの整備について、事業の主体となりうる関係団体や競技団体等と連携しながら検討 |

|  |  |
|--|--|
| <b>II スポーツを通じた地域・経済の活性化</b>                            |  |
| <b>1 スポーツ資源を活用した地域活性化</b>                              |  |
| スポーツアクティベーションひろしま (SAH) の展開及びわがまち <del>を</del> スポーツの推進 |  |
| <b>2 スポーツの成長産業化</b>                                    |  |
| (1) スポーツツーリズムの推進                                       | 「わがまち <del>を</del> スポーツ」等の取組を通じたスポーツツーリズムや交流人口、関係人口の増加に取り組む市町への支援  |
| (2) スポーツを活用したオープン・イノベーション                              | 県内のトップスポーツチームと連携した、オープン・イノベーションなどの取組により、新たなスポーツビジネスの創出・拡大  |
| (3) スタジアム・アリーナを中心とする新たな賑わいの創出                          | 新サッカースタジアム、広島ドラゴンフライズの暫定ホームアリーナとなる予定の広島グリーンアリーナのあるエリア全体の魅力向上のための取組を展開                                    |
| <b>3 スポーツを通じた交流・施策の推進</b>                              |  |
| (1) スポーツを通じた国際交流や関係人口の拡大                               | 合宿受入後のレガシーを活用した地域活性化、メキシコグアナファト州とのスポーツ交流   |
| (2) スポーツを活用した施策の推進                                     | 広島の強みを活かし、トップスポーツチームと連携し、各分野における県施策を推進   |
| <b>III 競技力の向上</b>                                      |  |
| <b>1 子どもたちがスポーツで夢や希望に挑戦できる環境の創出</b>                    |  |
| (1) 子どもたちの挑戦への支援                                       | 小学校期(スポーツを楽しみと思える体験機会や体験測定会の実施)から、中学校期(「ひろしまスポーツアカデミー」の拡充)、高等学校期(「競技力向上拠点校事業」の見直し)まで、スポーツを通じた子どもたちの挑戦を支援 |
| (2) 育成パスウェイの構築   | 国際舞台で活躍するポテンシャルを有するアスリートに対し、中央競技団体の強化へつながる体制の構築  |
| (3) 指導者、トレーナーの育成・確保                                    | 指導者育成事業、スポーツ指導者の資格取得の促進  |
| <b>2 県ゆかりの選手の活躍支援</b>                                  |  |
| (1) 国民スポーツ大会への支援                                       | 県代表選手を派遣支援、成年・ジュニアの更なる強化   |
| (2) 国際競技大会等への支援  | 各競技団体等から推薦されたトップアスリートの活動を支援  |
| <b>3 選手をサポートする体制・環境の充実</b>                             |  |
| (1) スポーツ医・科学的支援の充実                                     | スポーツドクターやアスレティックトレーナーの育成・確保<br>スポーツ医・科学のエビデンスに基づいた育成   |
| (2) スポーツ・インテグリティの強化                                    | ドーピング防止に関する講習会の開催、透明性の高い組織運営体制の整備  |
| (3) アスリートのセカンドキャリア支援                                   | 企業に対する働きかけ、地域での運動指導に関わる機会の拡大   |

## 【第5章】計画の推進と進行管理

### 1 計画の着実な推進

県庁内の関係部局や市町を始め、競技団体や協会等関係団体、企業や大学、NPOなど多様な主体と連携・協働しながら取組を進める。

### 2 計画の進行管理・評価・見直し

成果指標のほか、各施策における活動指標を設定し、進捗状況を評価する。  
スポーツ推進審議会等に報告し、審議会での意見を踏まえ効果的な推進に努める。